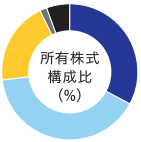
会社概要（2025年9月30日現在）

商号	株式会社 小松製作所（呼称：コマツ）
本社	〒105-8316 東京都港区海岸一丁目2-20（汐留ビルディング）
設立年月日	1921年（大正10年）5月13日

株式の状況（2025年9月30日現在）

発行済株式総数	950,953,120株
株主数	279,617名



■金融機関	33.0%	313,819,402株	182名
■外国人（外国法人含む）	40.1%	381,693,576株	1,485名
■個人・他	19.6%	186,387,458株	276,055名
■一般法人	1.8%	17,450,983株	1,822名
■金融商品取引業者	5.4%	51,601,701株	73名

株式関連情報

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当　3月31日 中間配当　9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

証券会社などに口座を開設されている株主さま

お取引口座のある証券会社などにお問い合わせください。
郵送物の発送と返戻、取扱期間経過後の配当金に関するご照会は、
三菱UFJ信託銀行で承ります。

特別口座に記録されている株主さま

三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。（連絡先上記）

見通しに関する注記事項

この報告書に記載されている将来の業績に関する予想、計画および見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績はさまざまな要因の変化により、記載の予想、計画および見通しとは大きく異なることがありえますことをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更などが含まれます。

コマツ

〒105-8316 東京都港区海岸一丁目2-20（汐留ビルディング）
https://www.komatsu.jp/ja
サステナビリティ推進本部　コーポレートコミュニケーション部
E-mail：JP00MB_info@global.komatsu

株主の皆さまへ

第157期 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日

［写真］最新の3D施工機能を搭載した新世代油圧ショベル「PC200i-12」（上）
コマツが世界で初めて開発・導入したパワー・アグノスティック・トラック「930E」（下）

KOMATSU
Creating value together

証券コード：6301

ごあいさつ

取締役会長　小川 啓之

代表取締役社長（兼）CEO　今吉 琢也

株主の皆さまには、日頃よりコマツグループの活動にご理解とご支援をいただき、厚く御礼申しあげます。

当社は、2025年4月より新たな3カ年（2025～2027年度）の中期経営計画「Driving value with ambition　価値創造への挑戦」をスタートしました。本計画では、持続的な成長を目指し、成長戦略3本柱①イノベーションによる価値共創、②成長性と収益性の追求、③経営基盤の革新を掲げています。

当社は、本計画において、ありたい姿を「安全で生産性の高いクリーンな現場を実現するソリューションパートナー」と再定義しました。このビジョンのもと、顧客の課題解決に貢献するソリューションと、それにつながる高度な機能を備えた製品の提供により、価値創造に向けた取り組みを更に加速させていきます。

当中間期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の連結売上高は1兆8,916億円（前年同期比3.9%減少）、営業利益は2,771億円（前年同期比8.7%減少）となりました。

当期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の連結業績については、本年4月28日に公表しました通期連結業績予想に対し、為替が想定より円安に推移していること、ならびに米国関税による影響額および最新の市場見通しを反映し、売上高および利益を上方修正しました。

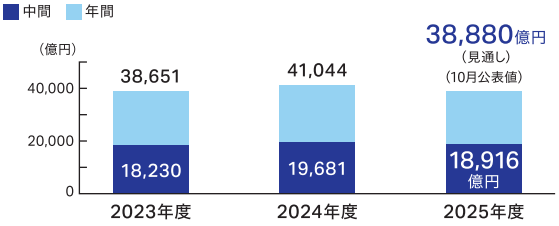
当社は、不確実性が一層高まる外部環境においても、各事業・地域におけるリスクと機会を的確に捉え、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質の強化を進めてまいります。そして、「品質と信頼性」を追求し、ものづくりと技術の革新による価値創造への挑戦を通じて、企業価値の最大化を目指してまいります。

株主の皆さまには、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

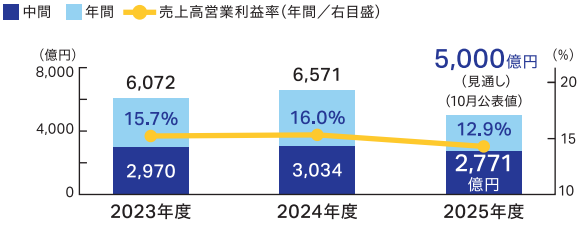
2025年11月

財務ハイライト

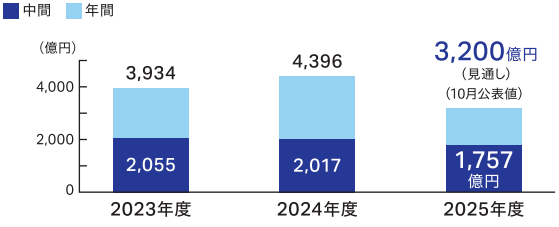
連結売上高



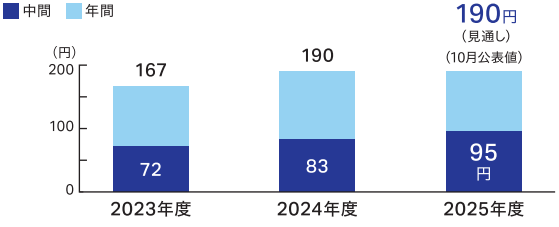
営業利益と売上高営業利益率



当社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金（決議ベース）



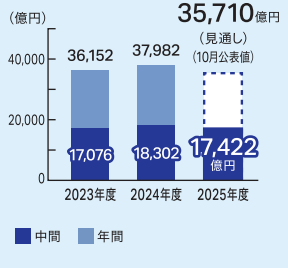
詳細は、当社ウェブサイト
「株主・投資家情報」ページをご覧ください。

https://www.komatsu.jp/ja/ir

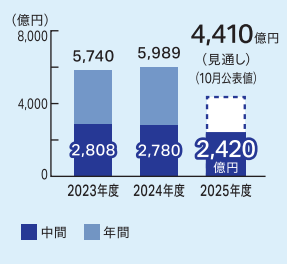
建設機械・車両部門

販売価格の改善に努めたものの、米ドルなどの主要通貨が前年同期に比べて円高となった影響や販売量の減少およびコストの増加により、売上高・セグメント利益ともに前年同期比で減収・減益となりました。

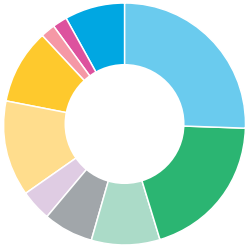
売上高 （部門間取引消去前ベース）



セグメント利益



地域別売上高構成比 （外部顧客向け：2025年9月30日に終了した6カ月）

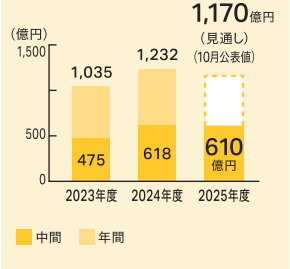


	売上高構成比	売上高	対前年同期比
北米	26%	4,595億円	-7.6%
中南米	20%	3,396億円	0.5%
欧州	9%	1,603億円	6.2%
アフリカ	7%	1,161億円	7.0%
中近東	4%	631億円	20.7%
オセアニア	13%	2,210億円	-6.0%
アジア	10%	1,715億円	-21.2%
中国	2%	370億円	-11.4%
CIS	2%	275億円	-12.7%
日本	8%	1,416億円	-6.5%

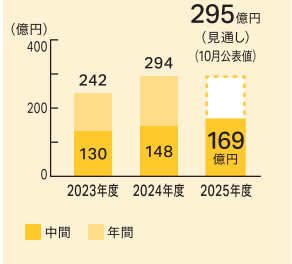
リテールファイナンス部門

金利収入が増加したものの、為替の影響により、売上高は減収となりました。セグメント利益は主に資金調達コストの低下により増益となりました。

売上高 （部門間取引消去前ベース）



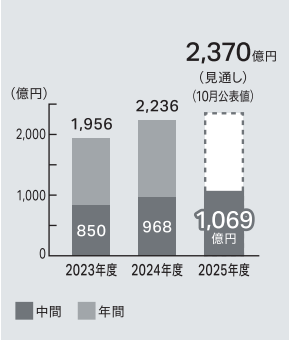
セグメント利益



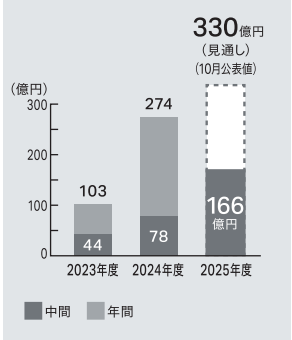
産業機械他部門

自動車産業向けの大型プレスの販売増加や、半導体産業向けエキシマレーザー関連事業におけるメンテナンス売上げの増加などにより、売上高・セグメント利益はともに増収・増益となりました。

売上高 （部門間取引消去前ベース）

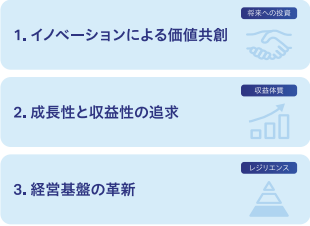


セグメント利益



新中期経営計画（2025～2027年度）を発表

新たな中期経営計画「Driving value with ambition 価値創造への挑戦」を4月に公表しました。本計画は、価値創造を通じた社会課題解決と収益向上の好循環による持続的な成長を目指しています。コマツの価値観の一つである「Ambition（挑戦する）」を軸に、新たな価値創造に挑戦していく姿勢を表現しました。成長戦略3本柱を掲げ、需要変動に左右されにくい事業構造の強化を進めることで、持続的な成長の実現に取り組んでいきます。



新中期経営計画の成長戦略3本柱

「bauma2025（建設機械見本市）」に最新機種を出展

4月、ドイツ・ミュンヘンで開催された世界三大建設機械展の一つとして知られる「bauma2025」に出展し、最先端のICT建機や電動建機、デジタルソリューションを紹介しました。なかでも、最新の3D施工機能を搭載した新世代油圧ショベル「PC220LCi-12」（日本市場では2024年12月に「PC200i-12」として発売）を海外市場向けに初公開しました。ICT機能のデモンストレーションでは、来場者の注目を集めました。

PC220LCi-12のデモンストレーション

北欧製林業機械を日本市場へトライアル導入

5月、日本の林業現場における人手不足や効率化の課題に対応するため、お客さまの現場において、グループ会社コマツフォレスト（スウェーデン）製の林業機械によるCTL工法*の試験導入を行いました。本機は一台で複数の作業が可能であり、作業ごとに専用機を使用する日本の一般的な工法と比べ、省人化や機械台数の削減などが期待されます。導入現場でも、その有効性が確認されました。

*森林内で伐倒・枝払い・玉切りを行い、長さをそろえて丸太を搬出する、欧州などで一般的な林業の工法。

コマツフォレスト製 ハーベスター「931XC」

パキスタンの銅・金鉱開発プロジェクト向けに鉱山機械を提供

鉱山資源開発会社であるBarrick社（カナダ）と、同社が進めるパキスタン・レコディク銅・金鉱開発プロジェクト向けに、2026年度より総額4.4億ドル規模の鉱山機械を販売する契約を締結しました。これは中近東地域で初の大規模受注です。コマツは現地法人の設立や部品供給体制の強化を通じてBarrick社への長期的な支援体制を構築し、ソリューションパートナーとして、同社の鉱山オペレーションの生産性向上に貢献していきます。

Barrick社に販売する機械と同型の超大型ダンプトラック「980E」

カナダ鉱山に世界最大の超大型油圧ショベルPC9000を導入

世界最大の超大型油圧ショベル「PC9000」を開発し、エネルギー開発会社Suncor社（カナダ）の鉱山に導入しました。本機はコマツドイツにて開発・生産された最新モデルであり、バケット容量は「PC8000」比で約9.5%増加しました。さらに当社最大のダンプトラック「980E」への積み込み作業に最適な設計としています。これにより、当社の980Eを多数導入いただいている同鉱山の作業効率の向上に貢献します。同社へは、今後も複数台の納入を予定しています。

フォートヒルズ鉱山（カナダ）で稼働する超大型油圧ショベル「PC9000」

第9回アフリカ開発会議（TICAD9）に出展

8月、第9回アフリカ開発会議（TICAD9）に出展し、アフリカ地域への貢献として、人材育成や先進技術、対人地雷除去活動などの取り組みを紹介しました。その中で、コートジボワールに建設機械のメカニック・オペレーター向けトレーニング施設を新たに開設する計画を発表しました。同施設は、2026年度の稼働を目指し、将来的には在庫・マーケティング機能も備えた西アフリカ地域の中核拠点として活用する方針です。

TICAD9で出展したコマツのブース

建設・鉱山機械の自動化に向けた技術開発を加速

9月、先進的なAI・シミュレーション技術を有するApplied Intuition社（アメリカ）と、次世代鉱山機械向けSDV（ソフトウェア・ディファインド・ビークル）および自動化車両プラットフォームの開発に関する協業を開始しました。また、土木・砕石現場向けには、グループ会社のEARTHBRAINと、自動運転システムを手掛けるティアフォー社と共に、ダンプトラック作業の自動化に関する協業を開始しました。

次世代鉱山機械のイメージ

私有コンテナによる部品輸送のモーダルシフト推進

コマツ粟津工場から茨城工場への建設・鉱山機械用部品の輸送において、私有コンテナを活用した鉄道輸送を3月に開始しました。グループ会社であるコマツ物流、日本通運株式会社、日本貨物鉄道株式会社との連携のもと、コマツの大型部品の特徴に合わせて設計した専用コンテナを使用し、積載効率の向上を図ります。これにより、年間160トンのCO_2削減が見込まれるほか、トラック運転手の人手不足などの課題解決にも貢献していきます。

私有コンテナにトランスミッションを搭載する作業風景（コマツ粟津工場）

「MF-TOKYO 2025（塑性加工技術専門展）」に最新鋭の鍛圧・板金機械を出展

7月、グループ会社であるコマツ産機は、塑性加工技術の国際展示会「MF-TOKYO 2025」に出展し、省エネと高精度加工を実現した新型サーボプレスの実機と、新型三次元レーザー加工機の展示を行いました。また、同社のプレス・板金機械には、建機と同様に機械稼働管理システム「Komtrax」が標準搭載されており、稼働管理やプレスの予知保全に効果を発揮しています。今回、プレス金型の摩耗を予測するシステムをはじめ、あらゆる角度から現場保全を支えるソリューションを紹介しました。

実機展示したACサーボプレス「H1F200-2」

コマツレポート2025を発行

9月、「コマツレポート2025」を発行しました。本報告書は、当社が目指す中長期的な企業価値向上に向けた活動や成長戦略の進捗状況を、財務・非財務の両面から、ステークホルダーの皆さまにわかりやすく説明することを目的として、毎年発行しています。本年は、新中期経営計画を中心に、トップメッセージ（社長・CFO）、顧客価値創造に向けた現場のプロジェクト活動、社外役員3名による座談会などを掲載しています。ぜひご覧ください。

コマツレポート2025

女子柔道部

コマツ女子柔道部では、本年より新監督を迎え、一層の強化を図っています。選手たちは、4月に開催された「2025年全日本選抜柔道体重別選手権大会」に6名、「2025年アジア柔道選手権大会」に1名、6月に開催された「ブダペスト世界柔道選手権大会」に1名など、多くの大会に出場しました。また6月に開催された「全日本実業柔道団体対抗大会」では2位となりました。

主な出場選手と戦績は下記のとおりです。

主な試合結果

2025年全日本選抜柔道体重別選手権大会

78kg級	泉 真生	優勝
78kg級	池田 紅	3位

2025年アジア柔道選手権大会

78kg級	池田 紅	優勝

グランドスラム・カザフスタン

78kg級	泉 真生	2位

ブダペスト世界柔道選手権大会

78kg級	池田 紅	3位

全日本実業柔道個人選手権大会

48kg級	芳田 真	2位
57kg級	込山 未菜	2位
63kg級	杵渕 萌	3位
63kg級	檀野 芽紅	2位
70kg級	西願寺 里保	優勝
78kg超級	米川 明穂	優勝

泉 真生選手

池田 紅選手

皆さまのご声援、ありがとうございました。

写真：アフロスポーツ

見学会のご案内

参加費無料

株主の皆さまに当社へのご理解を一層深めていただけるよう、
施設見学会を開催いたします。この機会にぜひご応募ください。

応募期間

**2025年11月28日（金）午前0時～
12月26日（金）午後5時**

対象者

2025年9月末現在、当社株式100株以上を保有の株主さま

注意事項

対象となる株主さま1名につき1コースのみご応募可能です。ご応募はウェブ限定とさせていただきます。ハガキ・電話でのご応募は受け付けておりませんのでご了承ください。ご応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

当選結果・見学会の詳細は2026年2月上旬のご連絡を予定しています。開催時間および概要に多少の変更が発生する可能性がありますので、詳細は当選通知にてご確認ください。現地までの往復交通費は参加者さまのご負担とさせていただきます。

自然災害発生など諸般の事情により中止とさせていただく場合がございます。中止の場合、当社ウェブサイトへの掲載および、当選者へ個別にご連絡を差し上げます。

応募方法

下記のいずれかの方法で応募フォームにアクセスしてください。ご応募には株主番号の入力が必要となります。株主番号は同封の「配当金計算書」「配当金領収証」などに記載されています。

ID：株主番号（半角数字8桁）　パスワード：郵便番号（ハイフンなし半角数字7桁）

1 二次元コード読み取り

2 当社ウェブサイトから下記の順に検索

コマツウェブサイトTop

- ▶株主・投資家情報
- ▶個人株主・個人投資家の皆さまへ
- ▶株主さま・個人投資家さま向けイベント
- ▶株主さま向け見学会
- ▶見学会応募フォーム

3 アドレスバーにURLを入力

https://www.net-research.jp/1294720/

	コース番号	事業所	開催日程・時間	定員	所在地・最寄り駅	概要	対象者
テクノセンタちびっこ見学会コース	1	テクノセンタ	2026年3月 9日（月） 午後1時30分～	各回150名	静岡県伊豆市 JR伊東線 伊東駅	建設機械のデモンストレーション、実機見学	株主さまご本人を含め、お子さまとその保護者（成人）（株主さまを含め1組5名まで）
	2		2026年3月10日（火） 午後1時30分～				
工場見学会コース	3	大阪工場	2026年3月 3日（火） 午後1時30分～	各回45名	大阪府枚方市 京阪電鉄 枚方市駅	中・大型油圧ショベルや大型ブルドーザーなどの組立ライン、ICT建機デモンストレーションの見学	株主さまと、その同伴者さま（株主さまを含め1組2名まで）ご参加は18歳以上とさせていただきます。
	4		2026年3月 4日（水） 午後1時30分～				
	5	茨城工場	2026年3月13日（金） 午前9時00分～	各回40名	茨城県 ひたちなか市 JR常磐線 勝田駅	大型ダンプトラックや大型ホイールローダーなどの組立ライン、デモンストレーションの見学	
	6		2026年3月13日（金） 午後2時00分～				
	7	小山／栃木工場	2026年3月16日（月） 午後1時30分～	各回30名	栃木県小山市 JR小山駅	エンジン組立ライン、ミニショベルやフォークリフトなどの組立ライン、デモンストレーションの見学	
	8		2026年3月17日（火） 午後1時30分～				
	9	粟津工場	2026年3月24日（火） 午前9時10分～	各回40名	石川県小松市 IRいしかわ鉄道 粟津駅	中・小型油圧ショベルや中・小型ホイールローダーなどの組立ライン、ICT建機デモンストレーションの見学	
	10		2026年3月24日（火） 午後1時05分～				

見学会の様子
ご見学内容は工場により異なります。また展示車両も変更の可能性がございます。